

「観光振興課（観光協会提供）」

○1月観光情報

【栗田美術館特集陳列 大作で見る伊萬里染付 初期から幕末まで】

陶磁器において大皿や大鉢は、およそ口径一尺（約30センチ）以上のものを指し、大瓶や大壺は高さ40センチを超えるものとされています。今回の特集は、このような大作から伊萬里染付を鑑賞しようというものです。染付の変遷や製作当時の流行、大作に挑む陶工の製作意欲を感じて頂ける内容となっています。

日 時：9月19日（土）～令和3年2月28日（日）

※当面の間、時間短縮で開館。詳細お問い合わせください。

午前10時～午後4時30分（最終入場は午後4時まで）

（通常は午前9時30分～午後5時（最終入場は午後4時30分まで））

休館日：月曜日（祝日の場合翌日）

場 所：栗田美術館（駒場町）

入館料：一般1,250円（1,000円）、小・中・高500円（400円）

（）内は20名以上の団体料金

交 通：JR両毛線あしかがフラワーパーク駅から徒歩で約10分

JR両毛線足利駅から車で約15分

東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

北関東自動車道足利ICから約20分

東北自動車道佐野藤岡ICから約15分

問合せ：栗田美術館 ☎0284-91-1026

【あしかがフラワーパーク「光の花の庭 フラワーファンタジー2020」】

東日本最大級500万球のイルミネーションに彩られた幻想の世界。夜景観光士が選ぶイルミネーションランキングでは5年連続で全国1位に輝きました。

94,000㎡の園内に500万球を超えるイルミネーションが瞬き、訪れる方々に毎年心温まる感動を与えています。

「光のバラ園」や「光の睡蓮」がパーク内を華やかに彩り、「光と花に彩られた幻想的なお城・フラワーキャッスル」もその鮮やかかつ繊細な光で訪れた人たちに大きな感動を与えます。神秘的な大藤棚も花びら一枚一枚をイルミネーションで再現しており、その美しさに、期間中は連日SNS等への写真の投稿が相次ぎます。

日 時：10月17日（土）～2月7日（日）

（平日）午後3時30分～午後8時30分

（土・日・祝）午後3時30分～午後9時

場 所：あしかがフラワーパーク（迫間町）

料 金：（夜間料金） 大人1,000円、小人500円

交 通：JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

JR両毛線富田駅より徒歩で約13分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため当面の間シャトルバスの運行は休止となっております。）

「観光振興課（観光協会提供）」

北関東自動車道足利ICより車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約18分

問合せ:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【滝流しの式】

大岩山毘沙門天では、悪口祭り^{あくたい}が終わり元日になると、国家の安泰、家内安全、商売繁盛をはじめとした諸願成就の大護摩の祈願を行います。その際に「滝流しの式」が行われます。

お神酒を「滝のように」額から受け大盃で飲み干すことで福やご利益が滝のごとく尽きないようにと執り行う儀式で、江戸時代前期の寛永年間(1624～1643年)に始まったと伝えられています。

参加者は毘沙門天の前に正座し、直径30センチ以上もある大きな朱盃を口にあてがいます。そこへ酒器を持った住職が祈願者の額から御神酒を注ぎ、額から鼻へと滝のように御神酒が流れ朱盃へ注がれていきます。自分が飲める量が朱盃に入ったら左手をあげて合図。住職が御神酒を注ぐのを止めるのと同時に祈願者は朱盃に入った御神酒を一気に飲み干します。願い事や無病息災を叶えたいと毎年祈願者が絶えません。

また、毎年1月1日午前6時50分頃、元旦の日の出とともに「初日の出遥拝式」も行います。ご自由にご参加いただけます。

日 時:1月1日(金・祝) 午前0時～

場 所:大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

JR両毛線足利駅から車で約25分

JR両毛線山前駅から車で約15分、徒歩約60分

北関東自動車道足利ICから約30分

北関東自動車道太田・桐生ICから約40分

問合せ:大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺) ☎0284-21-8885

【足利織姫神社歳旦祭(初日の出を拝む会)】

足利織姫神社では、例年1月1日午前6時30分から威勢の良い奉納太鼓の音とともに初日の出を拝む会を執り行い、新年の神事とともに境内に参集した全員で万歳三唱をするのが恒例となっています。

しかし、今回は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、関係者による神事のみを執り行う予定です。

問合せ:足利織姫神社奉賛会 ☎0284-22-0313

【足利七福神めぐり】

足利は古くから織物のまちとして栄え、商売が盛んに行われてきました。

そのような歴史風土のなかで、まちの繁栄と家運の隆昌、健康増進はかつてから足利の人々の願いでした。これを受けて、昭和17年から始まった「足利七福神めぐり」。第二次世界大戦中に一時中断しましたが、昭和50年代の七福神ブームを刺激に、昭和62年のお正月

「観光振興課（観光協会提供）」

に復活し、現在の協力社寺は18か所となっています。

名所旧跡や、豊かな自然を感じることができる「足利七福神めぐり」。皆さんもぜひ巡ってみませんか。

コースは、東西約17.5km、南北約14kmの範囲内に関係社寺18社寺が点在しています。太平記館を起点にした各社寺までの凡その距離をご案内します。

また、最短距離で巡れる市街地内には7社寺があり、一周約8km、徒歩で約3時間です。市街地内のお寺を巡る行程は以下のコースをご覧ください。

<市街地七福神巡り徒歩コース>

太平記館…0.4km…①大黒天(鑲阿寺)…1.2km…②寿老人(心通院)…0.3km…
③明石弁天(本城巖島神社)…2.1km…④福祿寿(長林寺)…0.6km…⑤恵比寿神(西宮神社)…1.1km…⑥毘沙門天(常念寺)…0.4km…⑦布袋尊(福巖寺)…2.0km…太平記館

また、今年も七福神スタンプラリーが開催されます。太平記館にてスタンプラリー台紙をお渡しいたしますので、その台紙に七福神社寺のスタンプをお集めください。各社寺にて御朱印もご対応いただけますので(ご住職様のご都合が悪い場合等はご了承ください。)年の初めの足利七福神巡りを是非お楽しみください。

日 時:1月4日(月)～1月24日(日)(予定)

場 所(スタンプラリー台紙お渡し・応募先):太平記館(足利市伊勢町)

交 通:JR両毛線足利駅から徒歩で約5分

東武足利市駅から徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICから約15分

北関東自動車道太田桐生ICから約30分

東北自動車道佐野藤岡ICから約30分

問合せ:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【厄除元三大師祭】

足利の厄除け大師では、新年に厄除け大祭を行います。

元三大師とは、比叡山第18世慈恵大師(僧名良源)のことです。985年1月3日に入寂されたので、世に「元三大師」と称されています。大師は、おみくじの創始者であり、厄除大師・角大師などともいわれ、自分の姿を鏡に写し「我が影像を置くところ必ず悪鬼・災厄がない」と誓ったことから、正月にそのお札を門戸に貼る習慣が生まれたといわれています。

☆寺岡山薬師寺(寺岡山元三大師)

奈良朝の頃に建立されたといわれ、崇保院公寛法親王すうほういんこうかんほうしんのうより菊花御紋章入りの日本に三幅しかない(他は、比叡山延暦寺、東叡山寛永寺)元三慈恵大師尊影御真筆を安置する寺です。

日 時:1月1日(金・祝) 午前0時 御本尊ご開帳・一番護摩祈願

(元旦の御祈願受付は午前8時から)

1月3日(日)午前8時～午後5時 秘仏降魔大師坐像特別開帳祈願

場 所:寺岡山施薬院薬師寺(足利市寺岡町)

「観光振興課（観光協会提供）」

交通:JR両毛線富田駅から徒歩で約13分
東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分
北関東自動車道足利ICから約20分
東北自動車道佐野藤岡ICから約20分

問合せ:寺岡山施薬院薬師寺 ☎0284-91-3236

☆龍泉寺(助戸元三大師)

足利厄除大師大祭は開山以来の行事で800年以上続けられています。例年、縁起ガラまき式やダルマ市が行われます。

日時:厄除け大祭 1月1日(金・祝)～2月3日(水)

「厄除祈願護摩」を行い、一年の厄払いをします。

新型コロナウイルス感染症対策と共に、参拝者の方々へ「疫病退散」お札を授与いたします。

ダルマ市 1月2日(土)・3日(日) 午前9時～午後5時

場所:龍泉寺(足利市助戸1丁目)

交通:JR両毛線足利駅から車で約5分
東武伊勢崎線足利市駅から車で約7分
北関東自動車道足利ICから約10分
東北自動車道佐野藤岡ICから約30分

問合せ:龍泉寺 ☎0284-41-5685

☆宝性寺(堀込薬師)

堀込薬師宝性寺では元日から4日間、大護摩厳修を執り行います。特に毎年1月4日は「厄除大祭(お薬師様のご縁日)」として、境内に露店が出ます。

この堀込薬師には八木節を全国に広めた堀込源太のお墓があり、その墓前にて、地元堀込町八木節保存会の皆様による八木節の奉納が行なわれる予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況により、縮小しての開催や中止となることもございます。

日時:1月1日(金・祝)～1月5日(火) 午前9時～午後4時 大護摩厳修

1月4日(月) 午前7時30分～午後4時30分 「厄除け大祭」

1月6日(水)～1月19日(火) 午前9時～午後4時 年頭祈願

場所:宝性寺(足利市堀込町)

交通:北関東自動車道足利ICから約20分
北関東自動車道太田桐生ICから約15分
東北自動車道佐野藤岡ICから約40分
東武伊勢崎線足利市駅から車で約7分
JR両毛線足利駅から車で約10分

問合せ:宝性寺 ☎0284-71-2743

【まゆ玉市】

虚空蔵菩薩を祀るこの寺は、1739年に虚空蔵堂を修復し、その時からこの祭りは始まった

「観光振興課（観光協会提供）」

といわれます。昔は、「蚕や繭が育ちますように」と養蚕家のための行事でしたが、織物産業が盛んになると「家業がますます繁盛しますように」と商売繁盛を願うようになり、参道では「まゆ玉」が売られるようになりました。参道には「まゆ玉」の他にも出店があります。虚空蔵は、丑・寅年の守り本尊でもあります。

日 時:1月13日(水) 午前9時～午後8時頃（毎年同日開催）

場 所:徳正寺(足利市本城3丁目)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約10分

JR両毛線足利駅から車で約10分

北関東自動車道足利ICから約15分

東北自動車道佐野藤岡ICから約35分

問合せ:徳正寺 ☎0284-21-5797

【閻魔大王大祭】

閻魔大王の座像(約2m)が有名で、「えんまさま」と呼ばれており、お堂の前に立つと、自動的に「えんまさま」のお姿が照らし出されます。近年、受験生がお参りに来る姿も見られます。

日 時:1月16日(土) 午前10時～午後8時頃（毎年同日開催）

(お経は午後6時頃から)

場 所:利性院(足利市井草町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から徒歩約10分

JR両毛線足利駅から徒歩約10分

北関東自動車道足利ICから約10分

東北自動車道佐野藤岡ICから約30分

問合せ:(一社)足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【御筒粥(おつつがゆ)】(足利市指定 民俗文化財)

その年の作物の豊凶を占う珍しい神事です。氏子たちが大きな釜で粥を炊き、その中に葦の筒を入れ、筒の中に入った米粒・小豆等の入り具合でその年の農作物の豊凶を占います。

占いに使われた小豆粥を妊婦が食べると“安産”になるといわれ、今でもこの粥を妊婦に食べさせる風習が残っています。

日 時:1月17日(日) 午後1時～

場 所:御厨神社(福富町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約10分

JR両毛線足利駅から車で約15分

北関東自動車道足利ICから約25分

東北自動車道佐野藤岡ICから約30分

問合せ:小堀宮司 ☎0284-71-0739

「観光振興課（観光協会提供）」

花情報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問い合わせの上、お出かけください。

問合せ：一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【蠟梅】

香しい匂いたつ蠟梅は、黄色い蠟燭のような花が印象的です。

時期：1月上旬～3月上旬

場所：あしかがフラワーパーク(迫間町)、鏝阿寺

【冬ぼたん】

冬に咲くぼたんは、雪囲いがされ、可愛い印象です。雪ん子のようにも見えます。

時期：1月中旬～2月下旬

場所：あしかがフラワーパーク(迫間町)

【寒椿・寒紅梅】

冬の白い空気感をかえてくれる寒紅梅、春への一步を感じさせてくれる可愛い花を楽しんでください。

時期：1月中旬～2月下旬

場所：あしかがフラワーパーク(迫間町)

【福寿草】

時期：1月下旬～3月上旬

場所：あしかがフラワーパーク(迫間町)

【年末年始(12月29日(火)～1月3日(日))の施設情報】

施設 \ 期日	29 (火)	30 (水)	31 (木)	1 (金)	2 (土)	3 (日)	問合せ
移住・定住相談センター(Aidacco)	—	—	—	—	—	—	0284-22-3434
太平記館	—	—	—	○	○	○	0284-43-3000
足利観光交流館(あし・ナビ)	○	○	○	△	○	○	0284-73-3631
足利まちなか遊学館	—	—	—	—	—	—	0284-41-8201

営業時間： ○・・・午前9時～午後5時 / △・・・午前10時～午後5時 / —・・・休業